

第3学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月13日（木）5校時

児童 男6名 女8名 計14名

授業者 菅野 由美

1, 主題名 赤ちゃんが生まれるまで（3－（2）生命尊重）

2, 資料名 おばちゃん、がんばれ（出典 「みんなのどうとく」 3年 学研）

3, 主題設定の理由

（1）価値について

本主題における指導項目3－（2）は、「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする」となっている。生命尊重は、すべての生命体に対する畏敬といとおしみの心を基底としている。人間にとってかけがえのない生命の尊さを知り、日常生活においても進んで自己の安全を図り、健康の保持に努めようとする態度を養うことが必要である。

現実性をもって死を理解できるといわれているこの時期の児童に生命の尊さを感じ得るような指導が必要である。そこで、自分の誕生や生育の過程を知り、病気やけがをしたときの様子などを思いおこすことから、自分の生命の尊さを知り、他の人の生命を大切にしようとする態度を育てていきたい。

本時は、総合単元の「ふかめる」段階の2回目の「道徳の時間」として、1回目の「道徳の時間」でつかんだ「命はかけがえのないもの」とあるという心情を土台に、総合単元と組んだ活動と関わらせながら、子どもたちに自分の生命の尊さに気づかせ、他の人の生命も同じように大切にしようとする心情を養いたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童の実態

学級の児童は、明るく、活発に活動している。総合的な学習の時間で自分たちの育てている花の世話をしたり、飼育当番で小動物の世話をしたりもしている。しかし、時間がたつと、世話をするのを忘れたり、友だちに任せっきりになってしまったりすることがある。

9月に行った同価値の資料「目の見えない犬」の学習では、「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる」ことをねらいとして授業を展開した。「ふかめる」段階では、「目の見えない犬を助けたい」という主人公の気持ちを考えることにより、「犬を大事に育てたい」「世話をきちんとする」など、資料を介して「生命を大切にしよう」とする意識が見られた。

生命は大切なものだということは、言葉の上ではほとんどの児童が分かっている。その反面、実際の児童の行動を見ると、交通ルールを守らないなど、周りの人々に心配や世話をかけることもしばしばある。このことから、真の生命の大切さは、十分に理解されているとは言えない。まして、他人の生命について真剣に考え、それを大切にしようとするまでには至っていない。

そこで、このような実態の子どもたちに、総合単元的な道徳学習を通して、生命がどんなにかけがえのないものであるかに気づかせ、それとともに、生命あるものを大切にしようとする価値意識を高めさせたいと考える。

(3) 資料について

本資料「おばちゃん、がんばれ」には、新しい生命の誕生を通して、自分の生命は周りの人々によって守られていることを知り、そこで初めて、他の人の生命も尊重しようとする主人公の気持ちの変化が描かれている。主人公のおばに赤ちゃんができ、いところが一人っ子でなくなると聞いて、自分も一人っ子である主人公は、うらやましく思う。そのことを母に話したら、母が主人公の誕生する際の様子を話してくれた。また、父から母の育児日記を渡され、自分の誕生時のことを知り、おばに赤ちゃんができたことを素直に喜べるようになったという内容である。

主人公の、新しく生まれる赤ちゃんへの思いが、自分の生まれた頃を振り返ることを通して、大きく変わったことに着目させることにより、自他の生命の尊さをいっそう深く考えさせることのできる適切な資料であると考ええる。

(4) 指導にあたって

①単元について

本単元「であう」段階では、児童の日常の生活と関わらせている。児童は、花や野菜を育てたり、生き物を育てたりする活動をしている。生命について考えさせるために、児童と身近な動植物との関わりから、生命について考えさせるきっかけとしたい。これらの日常的な活動を通して、動植物にも人間と同じように大切な命があることに気づかせ、本価値をつかませたい。

「ふかめる」段階においては、今までに育ててきた動植物の生命のつながりのすばらしさや命の大切さに気付かせていきたい。そして、自分も成長していることをとらえさせ、自分の生命へ意識を向けさせ、自分の生命を大切にすると同じように、他人の生命も大切にしようとする心情を育てたい。

「ひろげる」段階においては、自分の生命が多くの人に支えられていること、また、自分たちも多くの人の生命を支えることができることに気付かせ、生命を大切にしようとする心情を育てていきたい。

②本時について

「つかむ」段階では、妊娠中の担任（産休中）の病院での様子をビデオで見せたり、妊娠中に気を付けていることなどを録音したものを聞かせたりすることで、価値への方向付けを行いたい。

「とらえる」段階では、場面設定をきちんととらえられるように紙しばいを活用したい。

「ふかめる」段階では、主人公の気持ちを中心に話し合う。新しく生まれる赤ちゃんへの思いが、自分の生まれた頃を振り返ることを通して、主人公の気持ちが大きく変わったことに着目させたい。そして、生命は、自他ともに大切にすべきであることにつなげたい。

「まとめる」段階では、産休中の担任から、学校生活の中で児童に気遣ってもらったことなどが書かれた手紙を読み、日常の生活の中で他の人の生命も大切にしていることに気づかせたい。また、産休中の担任への手紙を書かせ、実践へとつなげるようにさせていきたい。

「あたためる」段階では、産休中の担任へ向けて書いた手紙を読んでもらい、自他の生命を大切にしようとする気持ちを持たせたい。

5, 本時の指導

(1) ねらい

自分の生命の尊さに気づき、ほかの人の生命も同じように大切にしようとする心情を養う。

(2) 展開

段落	学習活動・教師の働きかけ	予想される児童の反応	支援と指導上の留意点
つかむ 5分	1, 妊娠中の担任（産休中）の病院での様子をビデオで見せたり、妊娠中に気を付けていることなどを録音したものを聞かせたりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・おなかの中に新しい生命が息づいていることを感じさせる。 ・「命を大切にすること」について考えていくことを知らせる。
とらえる 5分	2, 「おばちゃん、がんばれ」を読んで、資料の状況をとらえる。		<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」の気持ちを考えながら読ませる。 ・場面の状況を把握しやすくするために、紙しばいを活用する。
ふかめる 20分	<p>3, 「わたし」の気持ちになって話し合う。</p> <p>○たかちゃんが、一人っ子でなくなると聞いたとき、「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>○お母さんがバイクで転んで、自分が死にそうになった話を聞いて、「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <p>◎「わたし」はどんなことを考えながら、お母さんの育児日記を読んでいたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たかちゃんだけ、ずるい。 ・たかちゃんがうらやましいなあ。きょうだいができる。 ・わたしだけ一人っ子じゃ、つまらない。 ・そんな大変なことがあったんだ。 ・死ななくてよかった。 ・おばちゃんの赤ちゃんは、大丈夫かなあ。 ・人が生まれるというのは大変なことなんだ。 ・わたしが生まれるとき、お母さんは、そんな気持ちでいたんだね。 ・命って大切なんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たかちゃんをうらやましく思う「わたし」の気持ちをおさえる。 ・自分が死にそうになったことで、自分の生命について、考えさせたい。 ・「もし、自分だったら」の視点を与え、主人公の気持ちに迫るようにさせたい。 ・自分の誕生時のことを知り、人の生命の大切さに気づいた主人公に深く共感させ、生命の大切さを理解させたい。

	<p>○お母さんの育児日記を読んだ後、おばちゃんに対して「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おばちゃん、この前は赤ちゃんができたことを喜べなくてごめんね。 ・赤ちゃんが生まれるのは大変なことが分かったよ。 ・からだに気を付けてね。 ・元気な赤ちゃんを産んでね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生まれた頃のことを知ったことで、これから生まれてくる赤ちゃんへの思いが大きく変わったことに気づかせる。
まとめ 10分	<p>4, 自分たちの生活を振り返る。</p> <p>○産休中の担任の先生からの手紙を読みます。</p> <p>○産休中の先生のおなかの赤ちゃんにお手紙を書きましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・産休中の担任から、学校生活の中で、児童に気遣ってもらったことなどが書かれた手紙を読み、生命について考えさせる。 ・これから生まれる赤ちゃんに向けた手紙を書かせる。
あたためる 5分	<p>5, これから生まれる赤ちゃんに向けた手紙を読む。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生命の誕生に対する気持ちを知ることで、自分の生命と同じように、他の人の生命も大切に守られていることに気づかせる。

6, 板書計画

<p>おばちゃんへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばちゃん、この前は赤ちゃんができたことを喜べなくてごめんね。 ・からだに気を付けてね。 ・元気な赤ちゃんを生んでね。 	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto;"></div> <p>○ お母さんの育児日記を読んで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が生まれるということは、大変なことなんだ。 ・ 命って、大切なんだな。 	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto;"></div> <p>○ 流産しかけ、命は五分五分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 死ななくてよかった。 ・ おばちゃんの赤ちゃんは、大丈夫かなあ。 	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto;"></div> <p>○ 自分が死にそうになったことを聞いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そんな大変なことがあったんだ。 ・ つまらない。 ・ いいなあ。 ・ ずるい。 	<p>おばちゃん、がんばれ</p> <p>○ たかちゃんが一人っ子でなくなる</p>
--	---	--	--	--

4 , 総合単元的な道徳学習の構想

単元名 輝け！なるセキツ

ねらい 自他の生命を尊重し、力強く生き抜こうとする心を育てるとともに、生命のすばらしさを感じさせる。

段階	時期	児童の意識の流れ	学級活動・体験的活動	各教科	日常指導・その他
で あ う	4 月		道徳の時間 (オリエンテーション) 1年間を通して、「生命尊重」について、重点的に学習していくことを知らせる。		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生になったよ。身長が伸びたよ。 ・ 健康に気を付けて生活したいな。 ・ 先生に赤ちゃんができたよ。 	学校行事 「健康診断」 自分の体の様子を知り、健康な生活をしようとする意識を持つ。	総合的な学習の時間 「花をそだてよう」 植物の種をまき、開花への期待を膨らませながら、責任を持って世話を続ける。	朝の会 「健康観察」 自分の健康状態を把握する。
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな花が咲くのかな。楽しみだな。 ・ 毎日、花のお世話をしっかりやろう。 ・ お花の芽が出たよ。 		理科 「植物をそだてよう」 植物の芽生えの様子を観察を通して、成長の違いや共通点があることに気付く。	日常生活 「担任との関わり」 担任に赤ちゃんができたこと知る。
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花や野菜が、大きく丈夫に育つといいなあ。 ・ 昆虫は、こんなふうにして育つんだね。 ・ お花や野菜がどんどん育ってきたよ。うれしいな。これからもお世話をしなくちゃ。 ・ 昆虫など、小さい動物にもやさしくしてあげよう。 		総合的な学習の時間 「学校農園・花だん」 野菜や花の苗植えを通して、育てることの喜びや苦労について感じ取る。	日常活動 「水やり、観察」 継続して、世話をすることの大切さを知る。
				理科 「チョウをそだてよう」 チョウの育ち方の観察を通して、生命の不思議さや自然のすばらしさに気付く。	朝の会 「1分間スピーチ」 植物のお世話を通して、気が付いたことを発表する。
			道徳の時間 主題名 動植物にやさしく 3 - (1) 自然愛、動植物愛護 資料名 「ヒキガエルとロバ」(出典 東京書籍) ねらい 生命あるものすべてを慈しみ、身近な動植物にやさしく接しようとする心情を育てる。		
					心のノート P55 「自然と仲よくくらす」 今までに育てた動植物のことで、感じたり思ったりしたことを書く。
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャボがおなかをすかないようにお世話をしよう。 			日常指導 「飼育活動」 学校で飼っているチャボに温かい心で接し、世話をする。
	8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物は不思議だね。すごい力があるんだな。 		理科 「花と実をしらべよう」 種まきからの成長の変化のようすをまとめる。	

ふ か め る	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜が大きくなったよ。 ・ たくさんとれてうれしいな。 ・ 生き物と一緒に過ごすには、やさしさが大切なんだな。 ・ 自分も病気やけがをしたとき、大変だったよ。 	<div>なるせ 「学校農園・花だん」 野菜の収穫の喜びを味わう。</div> <div>道徳の時間 主題名 いのちあるものをたいせつに 3 - (2) 資料名 「目の見えない犬」(出典 学研) ねらい 自分の生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。</div>
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月と比べて、大きくなったな。うれしいな。もっと大きくなりたいな。 ・ 自分の生命は、まわりの人によって守られていたんだね。 ・ 生きてるっていいなあ。 ・ 他の人の命も自分の命と同じように大切にされていたんだ。 	<div>学校行事 「身体測定」 自分の体の成長の様子を知り、成長した喜びを味わう。</div> <div>心のノート P56, 57 「ひとつしかないいのちを大切に」 「生きているってすばしいな」と感じるのはどんなときかを書いたり、お家の人に聞いたりする。</div> <div>道徳の時間 主題名 赤ちゃんが生まれるまで 3 - (2) 資料名 「おばちゃん、がんばれ」(出典 学研) ねらい 自分の生命の尊さに気づき、他の人の生命も同じように大切にしようとする心情を育てる。</div>
	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから、健康に生活するために気を付けて生活しよう。 ・ 好き嫌いしないぞ。 ・ 給食を作ってくれた人や食べ物に感謝していただく。 	<div>体育 「健康な生活」 食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた生活続けることの大切さを理解し、健康を守る活動を実践する。</div> <div>給食指導 給食を作ってくれた人や食材に感謝しながら、好き嫌いをしないで、いただく気持ちを高める。</div>
ひ ろ げ る	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の命を守るために力を尽くしている人がたくさんいるんだね。 	<div>道徳の時間 主題名 みんなで守る命 3 - (2) 資料名 「健ちゃんをたすける」(出典 東京書籍) ねらい 自分の生命の尊さを感じ取り、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。</div>
	2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちも多くの人に支えられているんだね。 ・ 自分たちだって、多くの人を支えてあげられるんだ。 	<div>心のノート P58, 59 「ひとつしかないいのちを大切に」 自分たちが多くの人々に支えられて生きていることに気づき、助け合って生きていこうとする気持ちを高める。</div>

生命の尊さを知り、命を大切にしようとする子ども

7, 資料分析

場面	<p>おばちゃんに赤ちゃんができ、たかちゃんが一人っ子でなくなると聞いたとき</p>	<p>妊娠中のお母さんがバイクで転んで、自分が死にそうになった話をお母さんから聞いたとき</p>	<p>お母さんの育児日記を読み、自分の誕生時のことを知ったとき</p>	<p>おばちゃんに赤ちゃんが生まれることを素直に喜べるようになったとき</p>
主人公の心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・たかちゃんだけ、ずるい。 ・たかちゃんはいいよなあ。きょうだいができる。 ・うらやましいなあ。 ・わたしだけ一人っ子じゃ、つまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そんな大変なことがあったんだ。 ・死ななくてよかった。 ・おばちゃんの赤ちゃんは、大丈夫かなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が生まれるというのは大変なことなんだ。 ・わたしが生まれるとき、お母さんは、そんな気持ちでいたんだね。 ・命って大切なものなんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おばちゃん、この前は赤ちゃんができたことを喜べなくてごめんね。 ・赤ちゃんが生まれるのは大変なことが分かったよ。 ・からだに気を付けてね。 ・元気な赤ちゃんを生んでね。
把握	<p>たかちゃんが一人っ子でなくなったことを知ったときの「わたし」の気持ちを考える。</p>	<p>自分が死にそうになったことを聞いたときの「わたし」の気持ちを考える。</p>	<p>お母さんの育児日記を読んだときの「わたし」の気持ちを考える。</p>	<p>育児日記を読んだ後、おばちゃんに対する気持ちが変わった「わたし」の気持ちを考える。</p>
発問	<p>たかちゃんが、一人っ子でなくなると聞いたとき、「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。</p>	<p>お母さんがバイクで転んで、自分が死にそうになった話を聞いて、「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。</p>	<p>「わたし」はどんなことを考えながら、お母さんの育児日記を読んでいたのでしょうか。</p>	<p>お母さんの育児日記を読んだ後、おばちゃんに対して「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。</p>